

ドイツ語 (初級 B) 第 25 回 関係代名詞

範囲: 教科書 S. 60-61 (CD トラック 76-77)

《今回の基本例文》

83. Wie gefällt dir der VW, der dort an der Ecke steht? (CD76-2)

あそこの角に停まっているフォルクスヴァーゲンをどう思う?

[定関係代名詞 1 格]

84. Kennen Sie die Leute, deren Koffer hier stehen? (CD76-4)

ここにトランクを置いている、あの人たちをご存じですか?

[定関係代名詞 2 格]

85. Der Polizist sucht den Fahrer, dem das Auto hier gehört. (CD76-6)

警察官は、ここにある自動車の持ち主であるドライバーを探している。

[定関係代名詞 3 格]

86. Der Film, den ich gestern Abend im Fernsehen gesehen habe, war sehr interessant.

(CD76-7)

私が昨夜テレビで見た映画は、非常におもしろかった。

[定関係代名詞 4 格、(現在完了)、(過去形)]

87. Das Zimmer, in dem wir übernachtet haben, war ungeheizt. (CD76-10)

私たちが泊まった部屋は、暖房が入っていなかった。

[前置詞+定関係代名詞、(現在完了)、(過去形)]

88. Wer viel raucht, schadet seiner Gesundheit. (CD77-1)

煙草をたくさん吸う者は、健康を害する。

[不定関係代名詞 wer]

89. Was man heute tun kann, darf man nicht auf morgen verschieben. (CD77-3)

今日できることは明日に延ばしてはいけない。

[不定関係代名詞 was、不定関係代名詞節の主文中の役割を示す指示代名詞 das]

授業第 24 回補足練習問題の解答

1. Gestern hat es geschneit. / Es hat gestern geschneit.

2. Morgen wird es heiß sein. / Es wird morgen heiß sein.

3. Wie spät ist es? / Wie viel Uhr ist es?

4. Jetzt ist es ○○ Uhr ×× [Minuten]. / Es ist jetzt ○○ Uhr ×× [Minuten].

\* 3 および 4 は教科書 S. 36-37 を参照。

5. Es gibt nicht genug Studentenwohnheime und Zimmer.

6. In Japan gibt es viele heiße Quellen. / Es gibt in Japan viele hei-e Quellen.

7. Gibt es hier in der Nähe einen Supermarkt?  
8. In uns[e]rer Stadt gibt es keine Universität. / Es gibt in uns[e]rer Stadt keine Universität.  
9. Damals gab es kein Geld. / Es gab damals kein Geld.  
10. Damals hat es kein Geld gegeben. / Es hat damals kein Geld gegeben.
- \* 1, 2, 4, 6, 8, 9, 10 は、形式主語 es を文頭に出してもよい。そうすると語順が変わる (うしろの文になる) ことに注意。

教科書第 15 課. 関係代名詞 (S. 60)

〈ドイツ語の関係代名詞についての総論〉 (補足)

- ◇ ある名詞を修飾するために後置される副文を導く接続詞を、**関係代名詞**という。  
◇ He is a student who learns German.  
(先行詞) (関係文)

彼はドイツ語を習っている学生である。

**先行詞**、**関係代名詞**、**関係文**などの用語や概念は、英語と同じ。

- ◇ ただし、ドイツ語の関係代名詞については、次の点に注意。
- ・性数格の変化があり、**先行詞に性と数**が、**関係文中の役割に格**が一致する必要がある。
  - ・副文なので、**定動詞後置**の語順になる。
    - \* 従属の接続詞の副文と同じ。 (⇒教科書 S. 34)
  - ・主文と関係文のあいだには必ず**コンマ**が入る。ドイツ語にも制限用法と非制限用法の区別があるが、英語のようにコンマの有無によっては示されず、文脈から考えねばならない。

教科書1 定関係代名詞 der

- ◇ **定関係代名詞** (先行詞を含まない関係代名詞) は **der** で、指示代名詞の **der** (⇒教科書 S. 51) とまったく同じ性数格変化をする。強く発音するのも同じ。

- ・このため、基本的には定冠詞と同じ変化形であり、2 格の **dessen** および **deren**、複数 3 格の **denen** にのみ気をつけよう。
- ・英語の *which* や *who* にあたるが、先行詞が物か人間かによる区別はない。
  - \* 定関係代名詞にはほかに **welcher** があり、変化形は **dieser** 型の指示代名詞と同じになる (⇒教科書 S. 19) が、今日ではあまり使われない。
- ・念のため、英語の定関係代名詞の変化表も記す (*that* は省略)。

	物	人間
主格	<i>which</i>	<i>who</i>
所有格	<i>of which / whose</i>	<i>whose</i>
目的格	<i>which</i>	<i>whom</i> ( <i>who</i> も可)

ドイツ語では目的格が 3 格と 4 格に分かれ、物/人間の代わりに性数の区別がある。

- ◇ **1格** : Der Mann, der dort steht, ist unser Lehrer.  
(先行詞) (関係文) (主文)
- ・ der Mann が先行詞 (男性)。
  - ・ der が関係代名詞 (男性1格) → 関係文の主語=1格。
  - ・ 「あそこに立っている (der dort steht)」「男性は (der Mann)」「私たちの先生です (ist unser Lehrer)」の順番 (関係文 → 先行詞 → 主文) で訳するのが基本。
    - \* 慣れてきたら、左から右に読んでいってもよい。
- ◇ **2格** : Der Mann, dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe, heißt Herr Müller.  
(先行詞) (関係文) (主文)
- ・ der Mann が先行詞 (男性)。
  - ・ dessen が関係代名詞 (男性2格) → dessen Bild でひとかたまり。この場合はこれが関係文の4格目的語。
    - \* 2格の関係代名詞+名詞結合の関係文中での役割は、関係文を詳しく読まないとうわらない。この場合は dessen Bild が zeigen の4格目的語と考えられる。
  - ・ 「その写真を私があなたに見せた (dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe)」「男性は (der Mann)」「ミュラー氏といいます (heißt Herr Müller)」。
- ◇ **3格** : Der Mann, dem ich geholfen habe, hat mir nicht einmal gedankt.  
(先行詞) (関係文) (主文)
- ・ der Mann が先行詞 (男性)。
  - ・ dem が関係代名詞 (男性3格) → 関係文の (helfen の) 3格目的語。
  - ・ 「私が助けてあげた (dem ich geholfen habe)」「男性は (der Mann)」「私にお礼さえ言わなかった (hat mir nicht einmal gedankt.)」
    - \* nicht einmal は熟語 (副詞句) で「～さえしない」の意味 (英語の *not even*)。
- ◇ **4格** : Der Mann, den ich heute besuchen möchte, ist mein Freund.  
(先行詞) (関係文) (主文)
- ・ der Mann が先行詞 (男性)。
  - ・ den が関係代名詞 (男性4格) → 関係文の (besuchen の) 4格目的語。
  - ・ 「私が今日訪問しようと思っている (den ich heute besuchen möchte)」「男性は (der Mann)」「私の友人です (ist mein Freund)」。
- ◇ **前置詞+関係代名詞** : Gehen wir in ein Café, in dem es nicht so laut ist.  
(主文) (先行詞) (関係文)
- ・ ein Café が先行詞。Café は中性、また in+4格と考えられるので、中性4格。
  - ・ in dem が前置詞+関係代名詞 (in+中性3格) → 関係文の副詞句 (in+3格)。
    - \* 前置詞+関係代名詞の場合、関係代名詞の格は前置詞の格支配により決まる。
  - ・ 「そのなかはさほどうるさくない (in dem es nicht so laut ist)」「喫茶店 (ein Café)」「に行きましょう (Gehen wir in ...)」。

◇ 教科書の例文は、それぞれ二つの主文を組み合わせたと考えてもよい。動詞の位置の移動に注意 (定動詞第 2 位 → 定動詞後置)。

- Der Mann ist unser Lehrer. + Der Mann steht dort.
- Der Mann, der dort steht, ist unser Lehrer.
- Der Mann heißt Herr Müller. + Ich habe Ihnen das Bild des Mannes gezeigt.
- Der Mann, dessen Bild ich Ihnen gezeigt habe, heißt Herr Müller.
- Der Mann hat mir nicht einmal gedankt. + Ich habe dem Mann geholfen.
- Der Mann, dem ich geholfen habe, hat mir nicht einmal gedankt.
- Der Mann ist mein Freund. + Ich möchte heute den Mann besuchen.
- Der Mann, den ich heute besuchen möchte, ist mein Freund.
- Gehen wir in ein Café. + Im (= in dem) Café ist es nicht so laut.
- Gehen wir in ein Café, in dem es nicht so laut ist.

### 教科書 Übung 1 (CD トラック 76)

8. empfehlen は 3 格目的語と 4 格目的語をとり、「〈3 格〉に〈4 格〉を勧める」の意味。

### 教科書 2 関係副詞 wo (S. 61)

- ◇ 先行詞が場所や時刻を表す語句の場合、**関係副詞 wo** を用いる。先行詞は名詞か副詞。
  - \* 英語の関係副詞のように *where* と *when* の区別はなく、先行詞が場所でも時間でも一様に **wo** を用いる。**wenn** は関係副詞にはならないので注意。
- ◇ 関係副詞 **wo** は、先行詞が名詞の場合、前置詞 + 関係代名詞に置き換える可能。
  - Die Stadt liegt an der Nordsee. + Ich bin in der Stadt geboren.
  - Die Stadt, in der ich geboren bin, liegt an der Nordsee.
  - = Die Stadt, wo ich geboren bin, liegt an der Nordsee.
  - \* geboren は gebären (*vt.* ~を産む) の過去分詞。存命人物について「生まれた」と述べる場合は、状態受動の現在 (**sein** + 過去分詞) を用いる。(⇒教科書 S. 57)
- ◇ 先行詞がないときも存在するので、その場合は従属の接続詞による副文と見かけ上はまったく変わらなくなる。
  - (例) Wo früher Wiesen waren, stehen jetzt Häuser.
  - = Im Ort, wo früher Wiesen waren, stehen jetzt Häuser.

### 教科書 3 不定関係代名詞 wer と was

- ◇ **不定関係代名詞** (先行詞を含む関係代名詞) は **wer** あるいは **was** で、やはり関係文中の役割に応じて格変化する。格変化は、疑問詞の **wer** や **was** とまったく同じである。(⇒教科書 S. 13)
  - \* 英語の *what*, *whatever*, *whoever* などにあたる。

- ◇ wer なら「~する人」、was なら「~するもの、こと」の意味になる。つまり、これら不定関係代名詞に導かれる節は名詞節の扱いになる (dass 節や ob 節と同じ)。
- ◇ 関係文はほぼ主文に先行するので、主文中の役割を明示するため、主文の頭に指示代名詞 der の格変化形 (単数) を置くことが多い (置かなくともよい)。その場合、wer 節 (人) に対しては男性形の der、was 節 (物) に対しては中性形の das を用いる。
- ◇ **wer** (人の 1 格) : Wer jetzt kauft, [der] kauft 20% billiger.  
(関係文) (主文)
- ・関係文は wer jetzt kauft。
  - ・**wer** なので人間を示し、関係文の主語=1 格。「いま買う人」。
  - ・wer jetzt kauft 全体が主文の主語 → 指示代名詞男性 1 格の der を添えて可。
  - ・「いま買う人」「は、20%安く買えます ([der] kauft 20% billiger)」
- ◇ **wem** (人の 3 格) : Wem das nicht passt, der kann ja gehen.  
(関係文) (主文)
- ・関係文は wem das nicht passt。
  - ・**wem** なので人間を示し、関係文の (passen の) 3 格目的語。「これが気に入らない人」。
  - ・wem das nicht passt 全体が主文の主語 → 指示代名詞男性 1 格の der を添えて可。
  - ・「これが気に入らない人」「は、帰ってもよい (der kann ja gehen)」。
- ◇ **wen** (人の 4 格) : Wen wir lieben, [den] möchten wir nicht verlieren.  
(関係文) (主文)
- ・関係文は wen wir lieben。
  - ・**wen** なので人間を示し、関係文の (lieben の) 4 格目的語。「私たちが愛する人」
  - ・wen wir lieben 全体が主文の 4 格目的語 → 指示代名詞男性 4 格の den を添えて可。
  - ・「私たちが愛する人」「を、私たちは失いたくない ([den] möchten wir nicht verlieren)」。
- ◇ **was** (物の 4 格) : Was Sie gesagt haben, [das] ist vollkommen richtig.  
(関係文) (主文)
- ・関係文は was Sie gesagt haben。
  - ・**was** なので物を示し、関係文の (sagen の) 4 格目的語。「君が言ったこと」。
  - ・was Sie gesagt haben 全体が主文の主語 → 指示代名詞中性 1 格の das を添えて可。
  - ・「君が言ったこと」「は、完全に正しい ([das] ist vollkommen richtig)」。
- ◇ **was** (物の 4 格) : Du kannst machen, was du willst.  
(主文) (関係文)
- ・関係文は was du willst。
    - \* この wollen は語法の助動詞ではなく本動詞 (～を望む)。
  - ・**was** なので物を示し、関係文の (wollen の) 4 格目的語。「君が望むこと」。
  - ・was du willst 全体が主文の目的語。語順から自明なので、指示代名詞は添えていない。
  - ・「君が望むこと」「を、君はしてよい (du kannst machen...)」。

◇ 不定関係代名詞でも先行詞をとる場合があります、それは中性の代名詞 alles, etwas, nichts, vieles, das などに対して、あるいは形容詞の最上級の名詞化に対してである。

\* alles, etwas, nichts, vieles は不定代名詞、das は指示代名詞。 (⇒教科書 S. 51)

\*\* 形容詞の最上級は、のちほど扱う。 (⇒教科書 S. 62-64)

・ etwas, was や alles, was などのペアで覚えておくとよい。

・ Wir haben alles, was wir brauchen.

(主文) (先行詞) (関係文)

\* 「我々が必要とする (was wir brauchen)」「すべて (alles)」「を、私たちは持っている (wir haben ...)」。

・ Das ist das Schönste, was ich je gesehen habe.

(主文) (先行詞) (関係文)

\* 「これは (das ist ...)」「私がこれまでに見た (was ich je gesehen habe)」「最も美しいもの (das Schönste)」である。

## 教科書 Übung 2 (CDトラック 77)

1. schaden は3格目的語をとる自動詞で、「〈3格〉を害する、損なう」。
2. *etw. auf etw. verschieben* で「〈4格〉を〈4格〉にずらす、位置を変える」。なお、ドイツ語では、auf morgen のような前置詞+副詞のかたちも許される。

### 補足練習問題

( ) 内に適当な関係代名詞を入れ、日本語に訳せ。

1. Ich kenne einen deutschen Professor, ( ) oft nach Japan kommt.
2. Aus Franken kommt der Wein, ( ) Flasche eine besondere Form hat.
3. In Wien haben wir die Touristen gesehen, ( ) wir schon in München begegnet sind.
4. Das Bier, ( ) ich in München bestellt habe, hat sehr gut geschmeckt.
5. Sie sucht einen Partner, mit ( ) sie Musik machen kann.
6. Wie heißt die Frau, auf ( ) er lange gewartet hat?
7. Es gibt auf der Welt Dinge, für ( ) es keine Erklärung gibt.
8. Hier ist etwas, ( ) ich für wichtig halte.
9. ( ) einmal gelogen hat, den glaubt man nicht mehr.
10. ( ) wir damals erlebt haben, können wir nie vergessen.

### 連絡先など

教員のメールアドレス: [tokan@nifty.com](mailto:tokan@nifty.com) 教員のウェブサイト: <http://hasegawa.la.coocan.jp/>

授業のウェブサイト (進捗表示、配付資料あり): <http://hasegawa.la.coocan.jp/lecture/>